

令和8年度 保健福祉事務所での「HIV・梅毒検査」について

💡「HIV・梅毒検査」は現在、各保健所において、**無料、匿名**で、行っています。

💡「HIV・梅毒検査」を受けることは、感染者自身の早期発見、早期治療に有効だけでなく、
感染の拡大を防止することもできます。感染が心配な方は、早めに検査を受けることをお勧めします。

💡正しい検査結果を得るために、感染の心配がある出来事から、**HIV 感染症は3か月、梅毒は1か月
経過してから検査を受けることが推奨されています。**

💡各保健所において、随時、相談を受け付けています。

【HIV・梅毒検査予定日】

検査は **予約制** ですので、あらかじめ検査を希望する保健所にお問い合わせ下さい。

保 健 所 名	連絡先(TEL)	検 査 日
小豆保健所 (小豆郡土庄町湊崎甲2079-5)	0879-62-1373	第3木曜日 10:00~11:00
東讃保健所 (さぬき市津田町津田930番地2)	0879-29-8261	第2水曜日 9:00~11:20
中讃保健所 (丸亀市土器町東8丁目526)	0877-24-9962	第1月曜日 9:00~13:40
西讃保健所 (観音寺市坂本町7丁目3番18号)	0875-25-2052	第3月曜日 9:00~11:40
高松市保健所 (高松市桜町1丁目10番27号)	087-839-2870	月1回 ※4月は実施なし ※6.11月は月2回

【注意事項】

※検査結果は、約1~2週間後になります。結果は、直接本人にお知らせします。

※HIV抗体検査と同時に、**梅毒検査を受けることが可能**です。梅毒検査のみは受け付けていません。

※すべての保健所において、**事前予約**が必要です。

電話または各保健所のホームページ上のWEBから予約が可能です。

※検査日は事情により変更する場合がありますので、予約時に確認してください。

■後天性免疫不全症候群（エイズ）とは？

HIV＝エイズではありません

- HIVとはヒト免疫不全ウイルス（Human Immunodeficiency Virus）の頭文字を取ったもので、ウイルスの名前です。HIVは免疫のしくみの中心であるヘルパーTリンパ球（CD4細胞）という白血球などに感染します。そして、からだを病気から守っている免疫力を低下させていきます。
- 後天性免疫不全症候群（AIDS:エイズ）とはHIVに感染し、免疫システムが破壊されておこる病気の総称です。HIVに感染しても、すぐにエイズを発症するわけではなく、個人差がありますが、発症までに数年から10年程度かかると言われています。

■HIV抗体検査とは？

- 後天性免疫不全症候群（AIDS:エイズ）の原因になるHIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染しているかどうかを調べる検査です。HIVに対する抗体ができていないかどうかを調べ、HIV感染を確認します。
- 5ml（小さじ一杯）ほどを採血し、血液検査を行います。
- HIVに感染している場合は、抗体ができていないという意味で、「陽性（プラス）」という結果、感染していない場合は、抗体ができていないので、「陰性（マイナス）」という結果が出ます。
- 感染しても、すぐには抗体ができないため、検査を受けるタイミングは、**感染の可能性のある機会があつて3か月以上**たってから検査を受けてください。そこで「陰性」と出た場合は、感染していないと考えられます。

■梅毒検査とは？

- 5ml（小さじ一杯）ほどを採血し、血液検査を行います。
- 血液検査では、「RPR（梅毒の活動性を調べる）」と「梅毒トレポネーマ抗体（TP）（過去から現在までに、梅毒に感染したことがあるかを調べる）」という2種類の抗体を測定することで、感染の状態を総合的に判断します。
- 梅毒の抗体は、感染から間もない時期では量が少なく、検査しても陽性にならないことがあります。そのため、**新しく感染を心配する性的接触があった場合、1か月以上**たってから検査を受けるとよいでしょう。

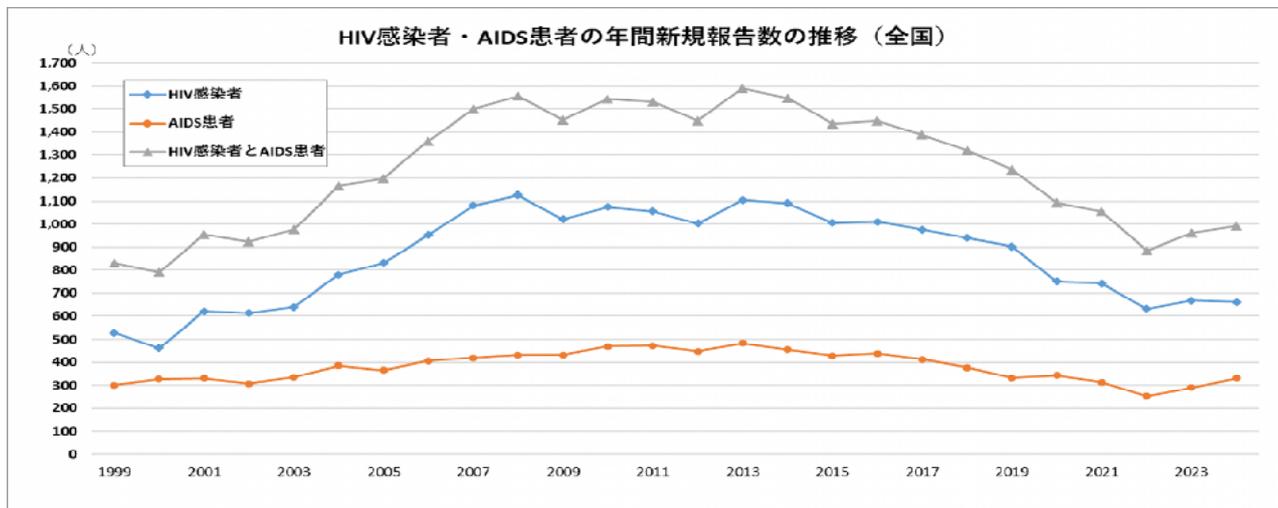
■その他

- クラジミア、梅毒、性器ヘルペス感染症などの性感染症にかかっていると、性器の粘膜が壊れてHIVに感染しやすくなります。
- HIV感染症/エイズの治療方法は大きく進歩し、エイズはもはや「死の病」ではなくなりました。現在はさまざまな治療薬があり、HIVに感染しても、早期に治療を開始し、継続することでエイズ発症を予防することが可能になっています。
- もし、感染がわかった場合、必要があれば治療を受けることができ、感染前と変わらない生活を送ることも可能です。早く感染が分かるとその後の体調管理もしやすくなります。

■HIV 感染者及びエイズ患者の状況

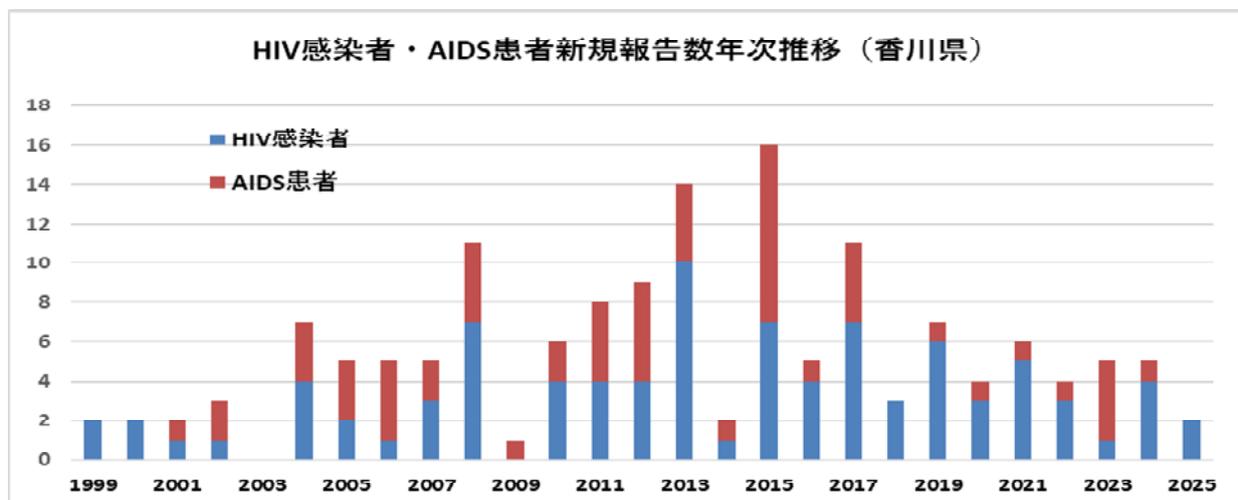
(1) 全国の HIV 感染者及びエイズ患者の報告数

令和6（2024）年の年間新規報告数は、HIV 感染者 662 件、AIDS 患者 332 件、HIV 感染者と AIDS 患者を合わせて、994 件の報告があり、前年の 960 件から 34 件増加しました。HIV 感染者と AIDS 患者を合わせた新規報告数に占める AIDS 患者の割合は 33.4%でした。



(2) 香川県の HIV 感染者及びエイズ患者の報告数（令和7年12月31日時点）

令和7（2025）年の新規報告数（速報値）は HIV 感染者 2 件、AIDS 患者 0 件でした。平成4（1992）年からの累計報告数は HIV 感染者が 94 件、AIDS 患者 60 件でした。



(3) 香川県の年間 HIV 検査実施件数（令和7年12月31日時点）

年	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
検査件数	356	322	284	239	269	156	89	95	170	176	198

※検査日を公表する理由

診断時に、すでにエイズを発症している事例もあり、早期発見のための検査の機会を逃していることが考えられます。検査日を公表することによって、県民にHIVやエイズに対し関心を持ってもらい、HIV検査の浸透・普及を図ることを目的としています。

